

佛教大学客員研究員 研究成果報告書

研究員氏名	趙 京華
招 聘 期 間	令和 6 年 7 月 17 日 ~ 令和 6 年 7 月 28 日
研 究 課 題	日本留学時代の魯迅：楚の明治期の思想と西欧近代文学の受容
研究成果報告	<p>1.何をどこまで明らかにしたか 日本留学時代の魯迅が、明治末期の個人主義思想と日本でも流行していた西欧のロマン主義文学を積極的に受け入れたことは明らかにした。</p> <p>2.今後の課題 明治期の日本思想と西欧近代文学を取り入れた魯迅が、その後の中国文学革命運動において、どのようにそれを生かしたか。</p> <p>3.社会への研究成果の発信 ①東京中国文学者の集い「以文會」で、「アメリカの近代弁論が日中両国での受容」を発表。 ②京都大学人文研で「東アジアの視座から幸徳秋水の思想世界を再考する」を発表。</p>

【学務課処理欄】

報告書受理日	令和 6 年 7 月 31 日
--------	-----------------

佛教大学客員研究員 研究成果報告書

研究員氏名	王 煒 (WANG Wei)
招 聘 期 間	令和 6 年 10 月 25 日 ~ 令和 7 年 1 月 25 日
研 究 課 題	中国山西省仏教寺院及び仏教遺跡に関する学術研究交流
研究成果報告	<p>1.何をどこまで明らかにしたか</p> <p>(1) 客員研究員としての期間に、佛教大学に所蔵される関連文献を十分に閲覧し、研究解題に関する資料を豊富に収集した。</p> <p>(2) 大阪市立美術館、東京国立博物館、大和文華館において中国の石刻造像と石刻造像碑を調査し、重要な知見を得た。</p> <p>2.今後の課題</p> <p>(1) 佛教大学に滞在した期間に蒐集した資料を、さらに整理し、中国語にて概説的成果を広く発信する。</p> <p>(2) 日本で調査した中国の石刻造像と石刻造像碑に対し、得られた知見のうち重要な点を研究し、学術論文にまとめる。</p> <p>3.社会への研究成果の発信</p> <p>2025年1月7日に、京都大学人文科学研究所において「山西中晩唐石窟の初歩的考察」を発表した。</p> <p>2025年1月15日に、佛教大学において「円仁の五台山～太原ルートに関する考察」を発表した。</p> <p>さらに、佛教大学滞在期間中に、学術論文2篇と、概説1篇を発表した。</p> <p>学術論文：</p> <p>1. 王煒・王婧・楊曉芳「『五台山写真帖』与佛光寺早期图像資料」『文物季刊』2024年4期（11月出版）</p> <p>2. 徐曉娜・王煒「寄刊玄石：程哲碑研究的総述与思考」『收藏家』2024年11期（12月出版）</p> <p>概説（原文「科普文章」）：</p> <p>王煒「雲岡石窟中的双獸斗拱——消失的前爪」『人民日報』2025年1月17日17版。</p>

【学務課処理欄】

報告書受理日	令和 7 年 1 月 27 日
--------	-----------------